

指定管理者管理運営評価シート

別紙 2

令和 4 年度

1 施設の概要

指定管理施設名 (施設所管課)	稲美町放課後児童クラブ (教育政策部教育課)
指定管理者	株式会社 小学館集英社プロダクション 代表者氏名 代表取締役社長 都築 伸一郎
指定管理期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 令和 5 年 3 月 31 日
指定管理委託料	31,636,000 円 (令和 4 年度)

2 指定管理者による自己評価

評価項目	事業計画	実績	自己評価
運営状況	・開館日数・開館時間等	開所 (262~292) 日 午前 8:00~午後 6:30 午後 2:00~午後 6:30 ※延長は午後 7:00	S 厚生労働省令 63 号 第 18 条 開所基準 原則 1 年につき 250 日を最低数字のクラブでも上回る。
	・委託事業、自主事業の実施	マスク着用や換気等の予防対策を徹底した上で実施も可能とした。	A クラブ内で楽しめる内容を工夫しながらもボランティア講師(人形劇・ハンドベル・銭太鼓・手話・講談師・腹話術)の方々に協力をもらい実施した結果、児童には良い体験となった。
	・利用者の満足度	アンケート実施により満足度を確認した。	A アンケート結果内、学童クラブの満足度 90.0% (充分満足・やや満足) の回答を得た。
	・その他 (特記事項)	新型コロナウイルス対応 母里の待機児童を加古へ案内	S 学級閉鎖・クラブの閉所にその都度対応。クラブ内でも感染予防の徹底に心がけた。母里の待機児童はバス移動で加古を利用した。
施設維持管理	・清掃 ・植栽等管理 ・警備 ・設備保守 ・修繕	例年通りの方法で点検リストを元にして丁寧に点検を実施した。	S 毎日チェックリストで点検を実施し修繕が必要な箇所は早急に対応した。エアコンや空調機器は定期的に清掃を行うことで清潔さを保ち劣化を防ぐようにした。
	・その他		
利用状況	・利用者数	登録児童数 447 名 クラブ別登録者月平均児童数 加古 (45) 名・母里 (56) 名 天満 1A (56) 名・天満 2A (56) 名 天満 3A (43) 名・3B (42) 名 天満南 (42) 名 天満東 1 (67) 名 東 2 (48) 名	S 登録児童数は、通年・一時登録者数合算で前年比 10 名減 (97.8%) となった。天満では昨年の利用控えの影響が幾分見受けられた。母里では待機児童が発生しバスを利用して加古へ案内した。
	・施設稼働率	加古 (102) %・母里 (116) % 天満 1A (52) %・天満 2A (79) % 天満第 3A (82) %・天満第 3B (77) % 天満南 (59) % 天満東 1 (96) %・天満東 2 (123) %	A 母里の児童が加古を利用したため加古の稼働率が前年度よりアップした。コロナによりクラブの閉所が何度かあったが、現在はコロナ禍前の稼働率に戻りつつある。
収支状況	・収支計画	コロナ禍で利用控えの影響はあるが、町より会費減少分の補填や支援員の待遇改善により、実質収入は増加した。	A 人員や環境設備を整えるための経費が多かった。
	・経費削減の取組み	支援員各自に経費削減意識が定着してきているが、昨年度より増加となった。	A 消毒や器具の交換、光熱費が増加。必要物品の購入をまとめたり利用出来るものを制作に使用する等エコにも意識した。

運営体制	・ 人員配置	支援員不足のクラブもあったが他クラブからの応援体制で乗り越えることが出来た。	S	支援員を募るが応募が無くて運営が大変だったが、クラブ間で協力することで支援員にも勉強となった。また無資格者を有資格者にしていく取り組みも実施した。
	・ 危機管理体制	月 1 回は各クラブで安全対策訓練を実施。マニュアルの読み合わせも定期的に行った。全支援員への外部研修も実施。	S	各クラブで安全対策訓練を毎月実施。リーダー会議では日々の安全確認の見直しや発生事項を共有し再発防止に努めた。全支援員への研修では直近の防災情報を得ることが出来た。
	・ 苦情要望等への対応	稲美町教育委員会と連携しながら、各案件について対応した。	S	案件は全クラブで共有し保育の向上に努めた。稲美町教育委員会の指導をいただきながら行った。
	・ 個人情報の保護及び情報公開	個人情報の確認と更新を web 教材を使用して実施した。	S	リーダー会議にて重要性を再確認し、web 教材で更新内容を確認して全支援員が共有した。
	・ その他（特記事項）	公の施設として公平性担保につとめた。	S	「公平性の担保」が現場で実施できるよう指導している。
		総合評価	A	まだコロナ禍が継続する中での活動だったが、感染予防や対策に気をつけながら外部講師の協力も得て、児童はより豊かな経験が出来た。今年度は次事業者への引継ぎもあり、支援員が不安を感じないように、保護者が次年度の申請をスムーズに出来るよう心がけて運営を行った。

3 施設所管課による一次評価

総合評価	A
------	---

管理運営は適正におこなわれています。

コロナ禍により学級閉鎖・クラブ閉所もあったが、感染対策を意識しながらボランティア講師を招きクラブ内で楽しめる内容を工夫しながら各種事業を実施したことは評価できる。また、利用者の満足度も昨年度同様 90.0%と高く利用者にも評価され利用者ニーズにこたえていることも評価できる。

4 内部評価委員会による評価

総合評価	A
------	---

管理運営については、協定書通りに行われていて適正である。

新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図り、クラブ内で楽しめる催しを実施している点は評価できる。

またセルフモニタリングを実施するなど、サービス向上に積極的に取り組んでおり、利用者アンケートでは前年に引き続き高い満足度を得ていることが分かる。

運営体制では、人員不足の対策として無資格者に資格を取得させる等の取組みを行ったり、各リーダーによって各施設に合った保育計画、運営目標を定めていて評価できる。

集団生活において、子どものトラブルは付き物だが、より一層児童が安全に利用できるような施設の管理運営を期待する。

5 外部評価委員会による評価

総合評価	
------	--

--

